

筆答試験の過去問題の閲覧等について

大学外に著作権のある文献を使用した筆答試験の一部については、著作権法の規定にしたがって法学部教務グループ窓口での閲覧のみとしています。下記に加えてさらに詳細な情報をお求めの場合は、法学部教務グループ窓口にて閲覧ください。

なお、本サイトには試験の問題文として使用した部分を非公開（黒塗り）として掲載します。

問題文については、以下の書籍・ウェブサイトの一部を改変したものを利用しています。

○令和5（2023）年度

福元健太郎・中川馨「得票の継承に対する世襲の効果：政党投票・候補者投票との比較」『選挙研究』29巻2号、2013年、一部改変あり

『朝日新聞』、2021年10月4日夕刊、一部改変あり

○令和4（2022）年度

宇佐美誠「気候正義の分配原理」、宇佐美誠編『気候正義：地球温暖化に立ち向かう規範理論』勁草書房、2019、一部改変あり

○令和3（2021）年度

野崎亜紀子「子供を持つ権利—生殖とリベラルな社会の接続を考えるために」、松元雅和・井上彰編『人口問題の正義論』世界思想社、2019年、一部改変あり

令和5年6月
神戸大学法学部